

第2回大阪府アドプト・プログラムのあり方懇話会 議事概要

- (日 時) 平成 29 年 2 月 14 日
- (場 所) 府庁本館 5 階 正庁の間
- (出席委員) 河井 孝仁 (東海大学文学部広報メディア学科・教授)
塩山 諒 (NPO 法人スマイルスタイル・代表理事)
藤原 明 (りそな総合研究所株式会社リーナルビジネス・部長)
- (議事概要)
- 参加総量を増やすには
 - ・行政ができること、できないことをしっかり示せば、参加者が関わりやすくなる
 - 情報のオープン化について
 - ・個別の課題を提示し、法律に基づきできること、できないことを示す必要がある
 - ・F A Qづくりが必要
 - ・情報提供のターゲティングが必要
 - プラットフォームづくりについて
 - ・プラットフォームづくりが必要
 - ・情報を公開する場を作る事もプラットフォーム
 - モチベーションづくりについて
 - ・関わり方を明確にすることがモチベーションの向上に繋がる
 - ・職員のモチベーション向上も必要
 - ・府民の満足度をアンケートすることも有効
 - 行政関与について
 - ・行政の役割は制度設計や情報を広く周知し、参加してもらえる仕組みづくりが重要
 - ・行政職員の仕事をできるだけ減らす視点が必要